

令和4年 1月「月報」

1 はじめに



新年明けましておめでとうございます。

自衛隊家族会の皆様におかれましては、新年を清々しく迎えられたこととお慶び申し上げます。

2年間に亘る新型コロナウイルス禍で、わが国は、経済活動の低迷と同時に友人・同僚・家族の交流までが制約されてしまいました。

令和4年（2022）

幸いにも昨年の10月以降コロナの新規感染者数が抑制されており、「このまま平穏無事が続くこと」を祈るばかりです。

しかしながら、諸外国では感染者数が急増しておりロックダウンに踏み切る国や都市も出てきています。また、わが国でも南アフリカ発のオミクロン株による感染者が少しずつ発生しており、引き続き感染予防の徹底が必要とされています。

『With コロナ』が当たり前となり、防衛省・自衛隊では、昨年における諸外国との共同訓練や統合演習の実施など、逐次本来の姿を取り戻しつつあります。

本会は、昨年、本部主催の防衛講演会や新任会長等研修会を止むを得ず中止せざるを得ませんでした。各県自衛隊家族会も、コロナ禍による入隊・入校予定者激励会の中止、防衛講話の制約、部隊訪問・隊員への激励の制限など諸活動が十分に出来ずに忸怩たる思いをされたことと思います。

令和4年の干支は、壬寅（みずのえ・とら）、十二支では寅（とら）年で、ネット上では「厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージ」とあります。

本会は、引き続き感染予防に留意するとともに、「隊員に最も身近な会」として、厳しい任務や困難な活動を行う自衛隊への感謝と敬意を表しつつ、寅（虎）が胎動するが如く、自衛隊が行う諸活動への支援・応援を積極的に行う本来の姿を取り戻しましょう。

各県家族会の皆様には、本年もご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2 防衛省・自衛隊の活動

（1）令和3年度補正予算（防衛省関係分）

政府は、昨年11月26日の閣議において、総額7,738億円の令和3年度補正予算（防衛省関係分）を決定しました。

令和4年度予算と合わせ「防衛力強化加速パッケージ」と位置づけ、現下の安全保障環境に対応するために必要なミサイル防衛能力や南西地域の島嶼部の防衛体制の強化等の事業から先行して推進するとしています。

（2）令和4年度防衛予算

政府は、昨年12月24日、過去最大の総額107兆5,964億円億円の来年度一般会計予算案を閣議決定しました。このうち防衛予算は、10年連続で増加し過去最

大の5兆4,005億円（対前年度比+583億円）となっています。

岸防衛大臣は24日の記者会見で、「周辺の安全保障環境がこれまでにない速度で厳しさを増す中、必要な防衛力を大幅に強化することが重要だ」と述べました。

（細部は、防衛省HPをご参照下さい。）

3 家族会の活動

（1）派遣海賊対処行動支援隊（第17次要員）への慰問・激励

昨年12月19日、札幌自衛隊家族会（島村吉曜会長）は、陸自真駒内駐屯地で開催された派遣海賊対処行動支援隊（第17次要員：第10即応機動連隊【滝川駐屯地】基幹の隊員80名）の壮行行事に参加し、本会からの慰問・激励をを担任しました。

当日は、宮本第11旅団長が執行者となり厳粛に壮行行事が行われ、島村家族会会長から行動支援隊警衛隊長の藤田1尉に「頑張ってください」との言葉を添えて慰問・激励品（目録）を贈呈しました。

派遣海賊対処行動支援隊（第17次要員）への慰問・激励



藤田警衛隊長に激励品贈呈

（2）UNMISS 司令部要員への慰問・激励

昨年12月23日、UNMISS 司令部要員として1月から現地に派遣される兵站幕僚の田原^{かい}快1等陸尉及び航空運用幕僚の森^{よしひと}克仁1等陸尉に対し、「自衛隊の活動支援基金」による慰問・激励品（目録）を土谷事務局長から贈呈し、現地での活躍をお祈りしました。



司令部要員に激励品贈呈

(3) 防衛講話の開催

ア コロナ感染を予防しつつ防衛講話（鳥取県自衛隊家族会）

昨年12月11日、鳥取県家族会（前田節夫会長）は、県主催の防衛講話を倉吉市内の倉吉シティホテルで自衛隊鳥取地方協力本部の協力のもと開催しました。

講師として、女性初の航空幕僚監部広報室長の吉田ゆかり1等空佐をお迎えし、「航空自衛隊でも必要なジェンダー視点と多様性～これまでの経験から～」と題して、家族会員約80名（男女半々）の聴講者を前に講話をしました。

吉田講師は、防大女子1期生として受験した動機、空幕勤務での男女共同参画等の担当官として女性自衛官の配置制限解除への努力、そして現在の広報室長勤務での昨年5月29日のブルーインパルスによる「新型コロナウイルス対応中の医療従事者等への敬意・感謝飛行」を計画・実行出来た事などを講話しました。

特に、育児・親の介護問題や「女性初」の葛藤もあったことなどの講話内容は、女性会員へ深い感銘を与え、有意義な防衛講話となりました。（田中俊子鳥取県家族会事務局長記）



熱弁を振るう吉田講師

イ コロナ感染が下火のタイミングで防衛講話（神奈川県自衛隊家族会）

神奈川県自衛隊家族会（小松龍也会長）は、コロナ感染が下火となった昨年12月11日、県主催の防衛講話を大和市文化創造拠点（シリウス）で開催しました。

講師として、神奈川地方協力本部長（平井克英1等海佐）を招聘し、「海上自衛隊の諸活動」と題して講演して頂きました。

当日は、家族会員はもとより、会員の案内で講演会を知った一般参加者も多く参加し、準備した70隻は満席の状態でした。

平井講師は、派遣海賊対処行動水上部隊指揮官の経験から、実部隊の活動を中心に講話しました。

聴講者からは、普段ニュースなどでは余り知ることが出来ない内容だけに、時間を忘れて講演に引き込まれる貴重な時間となり、「また機会や時間があれば聴講したい」との感想が寄せられ、有意義な講演会となりました。



熱弁を振るう平井講師

(4) 「2021東北復興応援なかの」で自衛隊PR活動を支援（中野・杉並家族会）

昨年11月20・21日の2日間、東京都自衛隊家族会（佐竹正紀会長）の中野・杉並自衛隊家族会（飯田登会長ほか7名）は、中野区が主催する「2021東北復興

応援展なかの」において、東京地方協力本部高円寺募集案内所（所長：星川 1 等陸尉）が実施する自衛隊のPR活動を、募集相談員とともに支援しました。

東日本大震災の被災地の復興を推進するために、平成24年から毎年開催される本復興応援展に、高円寺募集案内所が自衛隊広報ブースを出展、災害派遣時の自衛隊の活動記録の放映や写真の展示を行い、地域住民や自治体関係者等に幅広く自衛隊の活動をPRしました。

中野・杉並家族会の会員は、受付や案内などの支援を行いました。



自衛隊をPRする中野・杉並家族会員

(5) 3年ぶりの陸海空自衛隊福井市中パレードを激励（福井県自衛隊家族会）

昨年11月28日、福井県自衛隊家族会（八杉仁司会長）は、3年ぶりに開催された陸海空自衛隊による福井市中パレードに協力団体として参加しました。

当日、家族会員は青色のビブスを着用し、他の協力団体とともにパレード見学者約300名の検温、消毒、リストバンド・パンフレット渡しの受付業務、グループ別見学時の誘導などの業務を担当しました。

この際、受付テント横に福井県家族会の幟を掲げるとともに、行進路上の来賓席の真正面に横断幕2枚を掲げ、行進する自衛隊員への応援とともに来場市民へ家族会をアピールしました。（大刀一朗福井県家族会事務局長記）



幟を掲げ、青色ビブス着用し受付



横断幕2枚を掲げ応援・アピール

(6) 家族会活動スナップ

陸自広報センター（朝霞駐）研修



コロナ収束中に滋賀地本地域事務所の激励



青森県六ヶ所村家族会（小泉靖博会長他）

滋賀県家族会（福井順一会長他）

○ 県や地区家族会が、コロナ禍の影響でなかなか計画通り活動できなかったことは止むを得ないとしても、家族会の管理（特に経理）については例年通り厳格に実施する必要があることは言うまでもありません。現時点における事実関係は不明ですが、各県家族会においても、これを「他山の石」として足元を振り返る機会になればと願っています。

○ 会員の皆様には、引き続きお気軽に「問い合わせ窓口」をご活用下さい。
その際、是非「非通知設定」を外してお電話下さい。

4 事務局からの連絡・お願い

(1) 「DW（ディフェンス・ワールド）22」の購読申込案内

総合募集情報誌2022年版DW22を現在編集しており、今月末に完成予定です。

DW22では、次の部隊を取材し、自衛隊員を目指す人や自衛隊を知りたい方に、最新の情報や写真を多く取り入れて、読みやすくかつわかり易く編集しています。

○**陸自：下志津駐屯地**（高射学校、東部方面隊隷下部隊ほか）

○**海自：横須賀基地**（横須賀地方隊、同総監部、41掃海隊ほか）

○**空自：浜松基地**（第1航空団、警戒航空団ほか）

今月末以降、各県家族会では入隊・入校等予定者激励会が予定されています。是非DW22を募集活動や会員拡大にご活用いただきたくお願い申し上げます。

申し込みは、メール、またはFAX等でご連絡をお願い致します。

なお会員への販売価格は**470円/冊**、申込期限は**令和4年1月31日**です。

DW22表紙



(2) 北方領土返還要求運動全国大会の開催について

令和4年北方領土返還要求運動全国大会は、2月7日（月）11:30～12:35の間、国立劇場（千代田区）にて開催されます。今回は新型コロナウイルス感染防止対策のため

め、入場者数を制限するとともに時間も短くなる予定です。また、視聴者1万人を目標にY o u T u b eにより大会の様子を全国配信する予定です。

皆様のところでご覧いただけますので、細部決まり次第ご連絡いたします。